発注仕様書

1. 委託名：令和2年度 阿蘇リバイバルキャンペーン事業
国道57号北側復旧ルート開通記念感謝祭開催業務委託

2. 場 所：熊本県阿蘇市

3. 背 景：

熊本地震の本震により一部区間が被災した国道57号では、大津～阿蘇間の不通区間の代替として、現在、北外輪山ルートと南阿蘇の長陽大橋ルートが利用されている。しかしながら、代替ルートは、平日の通勤・帰宅時間及び休日における慢性的な渋滞に加え、ルート上で車両事故が発生した場合や降雪などの影響で長時間不通状態が続くケースもある。マイカーでの観光入込が大半を占める阿蘇地域にとって、移動リスクを伴う現状では、目的地として敬遠されていることが懸念され、観光入込みの回復が遅れている要因のひとつと考えられる。

また、国道57号と同様に熊本地震により被災したJR豊肥本線不通区間（肥後大津駅～阿蘇駅間）は、その復旧を終え、本年8月8日から運行再開を果たし、地域挙げての歓迎と喜びを感じたところである。これにより、市民の通勤・通学などの日常的な改善が図られたほか、観光客などの移動利便性の確保などにより、来訪者の受入れ拡大と地域経済の活性化に期待されている。

次は、本年10月の国道57号北側復旧ルートの完成・開通が待ち望ましいところである。低迷している阿蘇観光の回復には、これらの交通インフラの復旧・開通による交通アクセスの改善を強く発信していくことが重要である。

4. 目 的：

阿蘇地域にとって最も重要となる主要交通インフラの復旧は、熊本地震からの阿蘇地域の再生（リバイバル）を強く国内外に印象付けるものである。このため、阿蘇への交通アクセス改善のPRによる旅行需要の喚起と観光客の早期回復を目的として、交通インフラの開通による交流人口拡大とそれに伴う経済波及効果を狙った誘客キャンペーン「阿蘇リバイバルキャンペーン事業」を展開中にある。

国道57号北側復旧ルートの完成、JR豊肥本線の全線復旧による阿蘇へのアクセス向上に感謝するイベントを開催する。度重なる災害等から耐え忍んできた市民、その市民を主な対象とした企画としながらも、さらには災害から立ち上がる阿蘇市の姿を市民挙げて国内外に発信する意図も含む「復興の烽火」的な意味合いを持たせ、市民の意識の醸成を図ることにもつなげていく。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各種ガイドラインの反映を踏まえ、十分な検討を図ったうえで、その対策を講じながらイベントを開催する。

5. 内 容：

交通インフラの復旧・開通を記念した阿蘇市民感謝祭の開催サポート業務一式

1) 別紙「企画提案」に関する条件整理・調整

企画のブラッシュアップ、再提案などを含むトータルプロデュース：一式

2) テント、備品関係の調達

テント（横幕、ウェイト含む）、テーブル（テーブルクロス含む）、パイプ椅子、仮設フェンス、仮設シンク、ゴミ箱など：一式

- 3) ステージ関係の調達
ステージ、バックパネル、音響機材、照明器具など：一式
 - 4) 電気設備工事
100V配線、蛍光灯、LED照明、発電機など：一式
 - 5) 会場サイン整備
ステージタイトル看板、スケジュール看板、イベントコーナー看板、出店社名板、駐車場看板、アドバルーン掲揚料など：一式
 - 6) スタッフ人件費
司会者（1名）、全体管理（2名）、ステージ進行（2名）、昼間警備員（10名）、夜間警備員（2名）など：一式
 - 7) 設営・撤去費及び運搬費
会場設営費、撤去費、クレーン・リフト借上げ、車両運搬費など：一式
 - 8) 新型コロナウイルス感染防止対策
サーマルカメラ、アルコール除菌スプレー、透明フィルムなど：一式
- ※1. フィールドイベント費、ステージイベント費、ナイトタイムコンテンツ費については、各出演者等に別途実行委員会からの直接支払いとする（本仕様書対象外）。
- ※2. 市民誘客作戦（市民クーポンの発行、お楽しみ抽選券の発行、記念ノベルティの配布）については、別発注扱いとする（本仕様書対象外）。

6. 工 期：

契約締結の日から令和2年11月30日まで

7. 成 果 品：

- 1) 実施報告書（紙媒体：A4判カラー）： 30部
- 2) CD-ROMまたはDVD-ROM： 3部

8. 注意事項等：

- 1) 本業務を履行するうえで知り得た情報等については、第三者に開示または漏洩しないこと。
- 2) 本業務の成果物となる報告書および二次的著作物については、阿蘇リバイバルキャンペーン実行委員会（事務局：阿蘇市）に帰属するものとする。
- 3) 本業務の実施にあたっては、関係する法令および諸規程を遵守すること。
- 4) 本仕様書に記載のない事項であって、本業務の遂行に必要と認められる事項が発生した場合には、監督職員に速やかに協議し、その指示に従うこと。

9. 補足事項等：

- 1) 前提条件として、別紙「企画提案」を示すが、それ以上の企画やアイデアを拒むものでなく、予算の範囲内で創意工夫を試みることは重要である。
- 2) 開催時期は、国道57号北側復旧ルートが開通する日を含む2日間としているため、その会期に合わせた予算規模としている。万が一、1日開催となった場合、当初契約額から減額変更する可能性もある。
- 3) 今回のイベントは分散型による開催とするが、ここでは第1会場である「はな阿蘇美」及び「阿蘇草原保全活動センター」での企画提案を求めるものである。なお、当初契約後において協議のうえ、第2会場の増額変更を行う可能性もある。